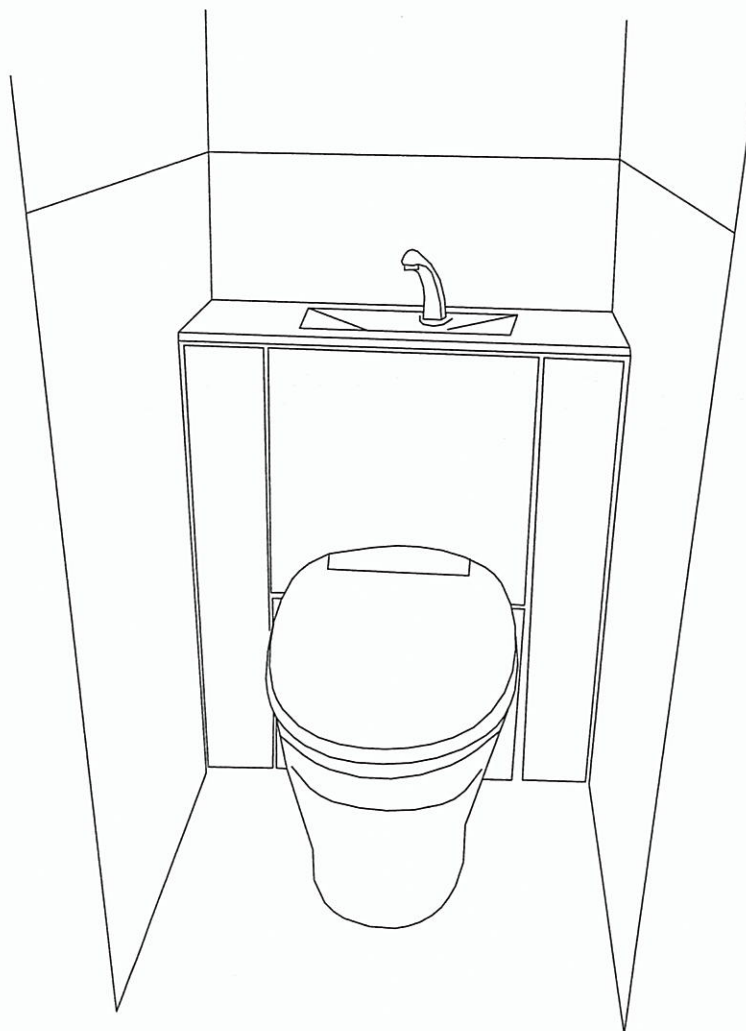
タカラ「ティモニ」Cシリーズ

設置説明書（設置される方へ）

もくじ

設置説明書

設置される方へ　設置後は、この説明書を必ずお客様にお渡しください。お渡しできない時は、わかりやすい位置に紛失しないよう納めておいてください。

タカラスタンダード株式会社

設置説明書（設置される方へ）

1．設置される方へのお願い

この説明書は、設置上のご注意と手順を記載しています。設置前に必ずお読みの上、正しく設置していただくようお願いいたします。

・本製品の設置が終了しましても、他の工事が残っている場合は万一の場合にそなえ、製品に布等をかぶせて保護してください。

・タンクに同梱されている取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れのないように保管し、設置完了後お客様にお渡しください。
お渡しできない時は、わかりやすい位置に紛失しないよう納めておいてください。

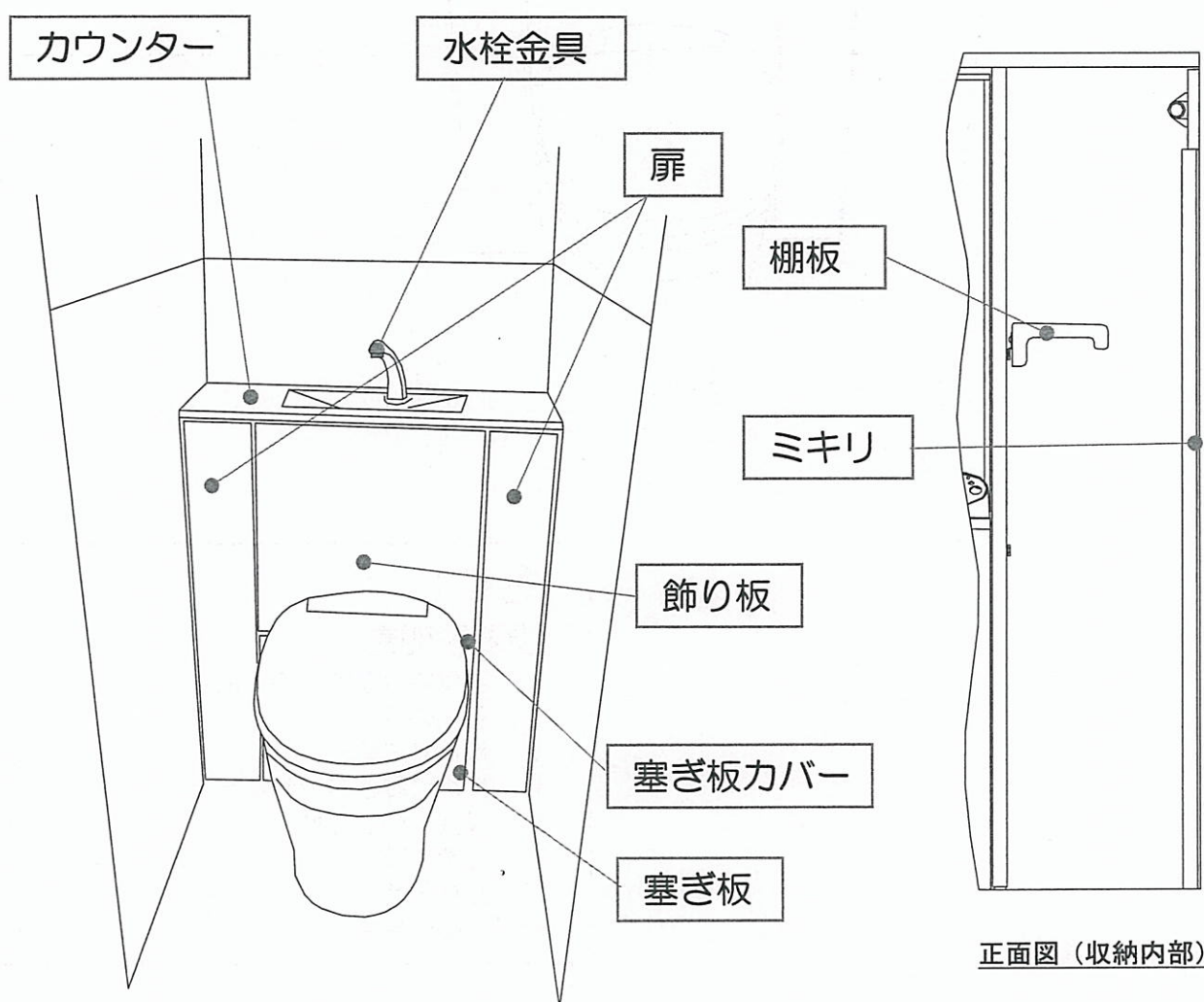
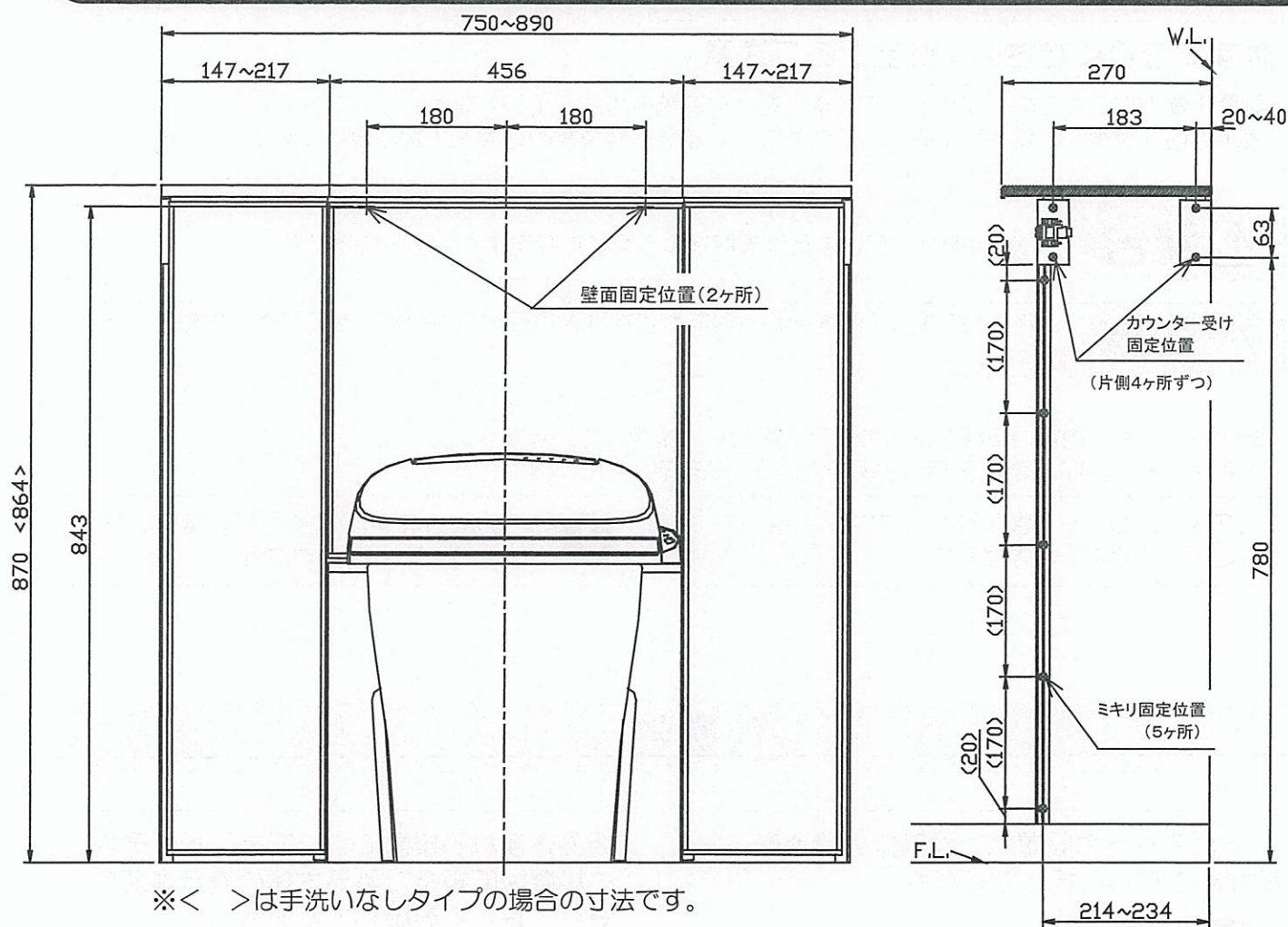
・梱包資材等の不要部材は法令にしたがって適正な処理をお願いします。

2．各部の名称

※イラストは「手洗い付」の場合

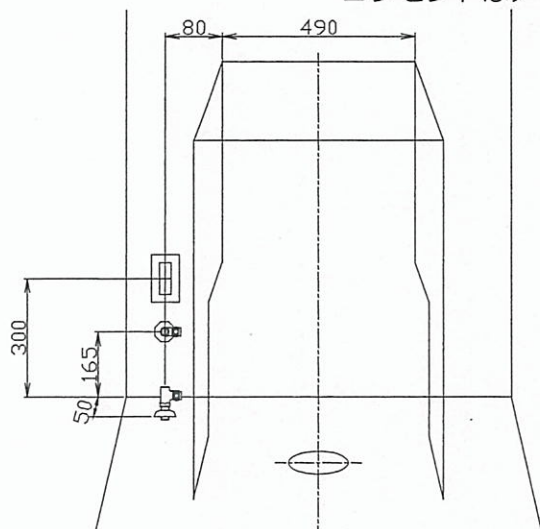
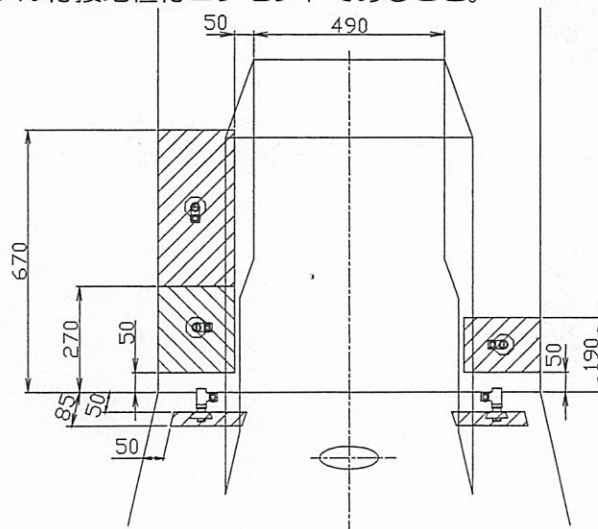
3. 取付寸法図

750~890
147~217
456
147~217
180
180
壁面固定位置（2ヶ所）
870 <864>
843
W.L.
270
183
20~40
63
(20)
(170)
(170)
(170)
(170)
(20)
カウンター受け
固定位置
（片側4ヶ所ずつ）
780
ミキリ固定位置
（5ヶ所）
F.L.
214~234

※＜　＞は手洗いなしタイプの場合の寸法です。

4. 給水位置とコンセント位置

新設又は移設する場合　下図『基本位置』にしたがって工事してください。コンセントはアースターミナル付接地極付コンセントを使用してください。

リフォームの場合　下記条件を満たしていることを確認してください。

・給水管が下図『対応可能範囲』に配置されていること。
・給水管の下側（漏水時に水がかかる位置）にコンセントがないこと。
・コンセントはアースターミナル付接地極付コンセントであること。

基本位置

対応可能範囲（リフォームの場合）

5. 設置上のご注意

必ずお守りください（安全上のご注意）

・設置作業の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。
・表示内容を無視して誤った工事をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

⚠警告	この表の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

・お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。
・設置完了後、各部の点検を行い、異常の無いことを確かめてください。

このような図記号は、してはいけない「禁止」の内容です。

このような図記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

⚠警告

・キャビネットの設置は、建築壁の構造を確かめて正しく行ってください。

・転倒などでケガをするおそれがあります。

・組み込まれる機器については、それぞれの設置説明書及び製品本体の表示事項を守り、正しく設置してください。

・設置を誤ると思わぬ事故や故障の原因になります。

・設置終了後は、扉の傾き、ガタつき、丁番のゆるみがないことを必ず確認してください。

・使用中に扉が落下してケガをするおそれがあります。

・水道水以外に接続しないでください。

・機械内部の腐食により破損などの故障の原因になります。

・壁の倒れが大きいところに設置しないでください

・取付が不安定になり、思わぬ事故の原因になります。

⚠注意

・仕上げ工事に使われる溶剤・洗剤・その他の薬品類は、それぞれの注意表示にしたがって正しくお使いください。

・使い方を誤ると、人体に悪影響を及ぼしたり、使用部材の損傷や劣化の原因になります。

・工事終了後、給水管から漏水がないかどうかを確認する。

・家財に損害を与えるおそれがあります。

・設置工事に使用する部材は、必ず付属部品及び指定部品を使用してください。

・転倒などでケガをするおそれがあります。

・給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしないでください。

・水漏れの原因になります。

・工具類等を製品に落としたり当てたりしないでください。

・傷がついたり欠けたりするおそれがあります。

6. 設置手順

［1］設置前確認 → ［2］部品の確認 → ［3］トイレ据付前作業 → ［4］トイレの据付 → ［5］キャビネット本体の設置 → ［6］塞ぎ板の取付 → ［7］飾り板の取付 → ［8］扉の取付 → ［9］カウンターの取付 → ［10］棚の取付

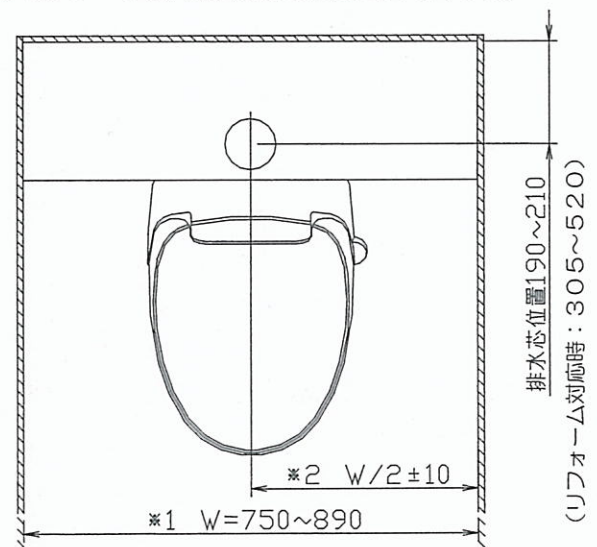
［1］設置前確認

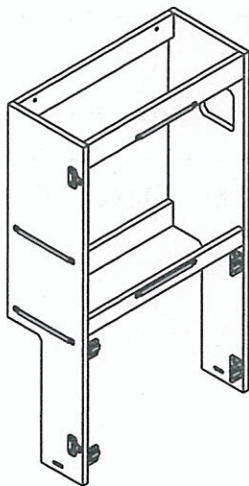
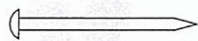
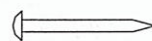
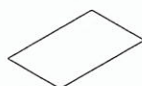
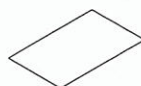
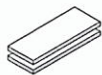
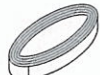
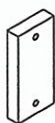
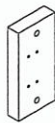
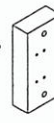
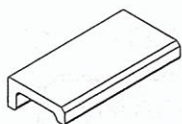
※1　排水芯がセンターでない場合は最大間口は870mm です
※2　排水芯がセンターでない場合は扉寸法が左右で異なる。

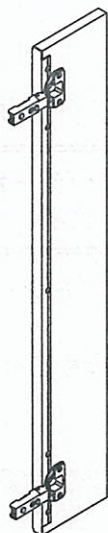
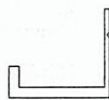
①設置制約と排水位置について

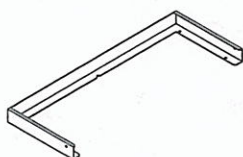
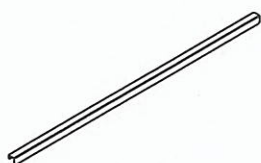
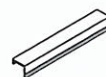
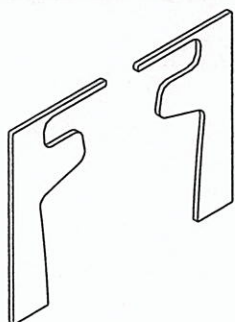
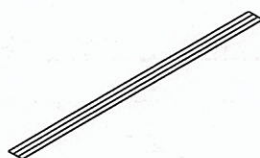
・床下排水であること。また排水芯位置は規定範囲内であること。（右図参照）
・設置間口が７５０～８９０mmであること。
　但し、間口方向の排水芯位置がセンターでない場合は８７０mmが最大間口です。
・巾木がある場合、高さ寸法が１００mm以下、厚みが１０mm以下であること。
・ネジ打ち位置に下地が入っていること（横壁・後壁）。
・ネジ打ち位置に配管や電気配線が通っていないこと。
・取付壁面の不陸は２mm／１m以下であること。

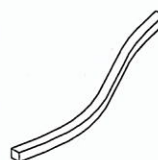
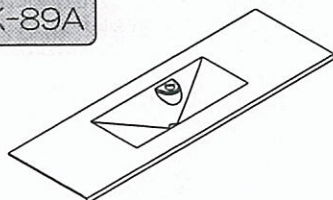
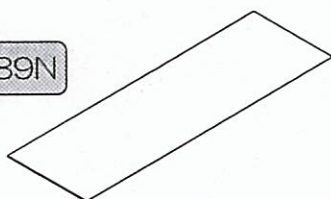
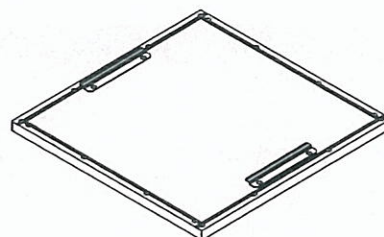
②下地について

取付用桟木、又は12mm 以上の合板が、壁面の指定位置に設置されていることを確認してください。（取付寸法図Ｐ２参照）

［2］部品の確認

部品が揃っているか確認してください。

同梱部品

棚板［２個］

スペーサー［８枚］

扉［２枚］

縦エッジ［２本］

ミキリ［２本］

底固定金具［１個］

塞ぎ板カバー［１個］

横エッジ［４本］

塞ぎ板［Ｌ／Ｒ各１枚］

両面テープ［３本］

目地材［２本］

カウンター
［手洗い付の場合１台］

カウンター
［手洗いなしの場合１台］

飾り板［１枚］

［3］トイレ据付前作業

①排水芯位置の確認

後壁から排水芯までの寸法によって設置位置が変わります。下記手順で排水芯位置寸法を測ってください。

排水芯位置が設置に影響する項目

［P７］　カウンター受け、プッシュラッチの取付
［P９］　キャビネット本体の取付

（１）排水芯の中心線をけがき、後壁の巾木を中心線から左右２５０mm程度カットしてください。（図３－１）
（２）型紙 WCKF の排水口部ミシン目を破った後に排水配管に挿入し、型紙の目盛で排水芯（排水管中心）から後壁との距離を測ってください。

②底固定金具の取付

（１）底固定金具を後壁に当てた状態で排水芯の中心線と底固定金具の切欠きを位置合わせして床にトラスタッピンネジ４ｘ２５　４本で固定してください。（図３－２）
※参考として、排水芯２００mmの場合の便器固定穴位置を掲載しています。（図３－３）

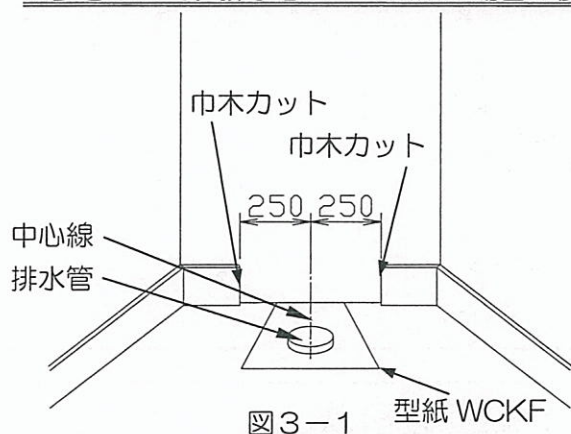
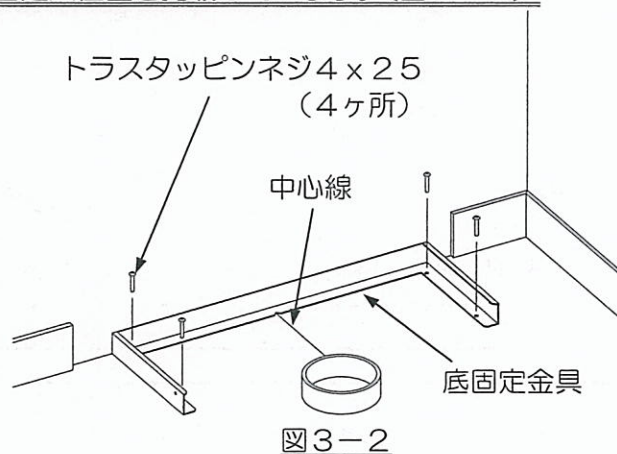
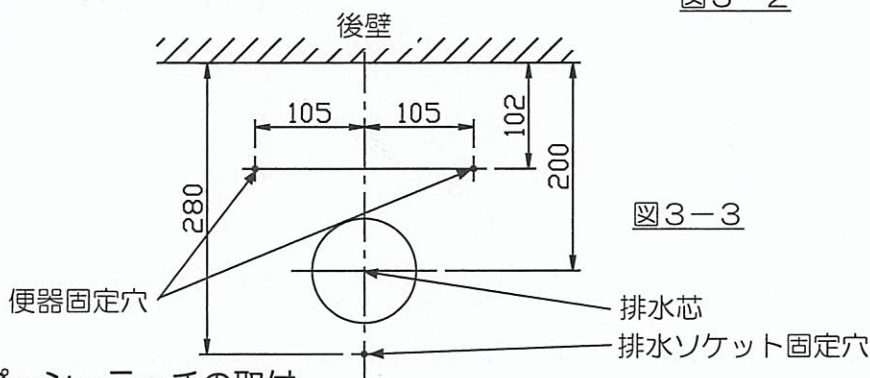



図３－１　図３－２　図３－３

③カウンター受け、プッシュラッチの取付

（１）型紙 WCKW を横壁に貼付けてください。その際、型紙と後壁の間には排水芯位置に応じて隙間をあけてください。（図３－４）

排水芯位置	型紙と後壁との寸法
１９０mmの場合	なし
１９５mmの場合	５mm
２００mmの場合	１０mm
２０５mmの場合	１５mm
２１０mmの場合	２０mm

※５mmピッチで一番近い場合を選択してください。

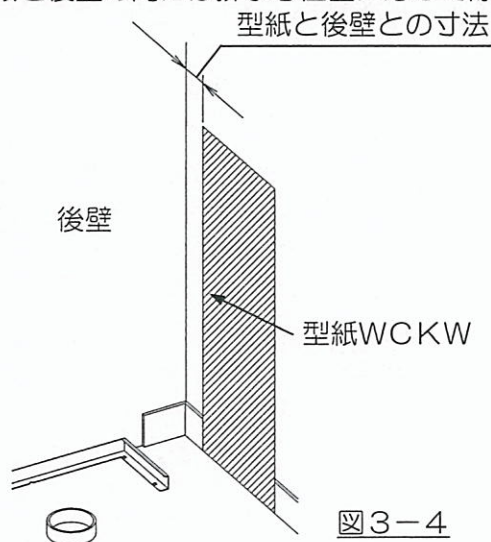



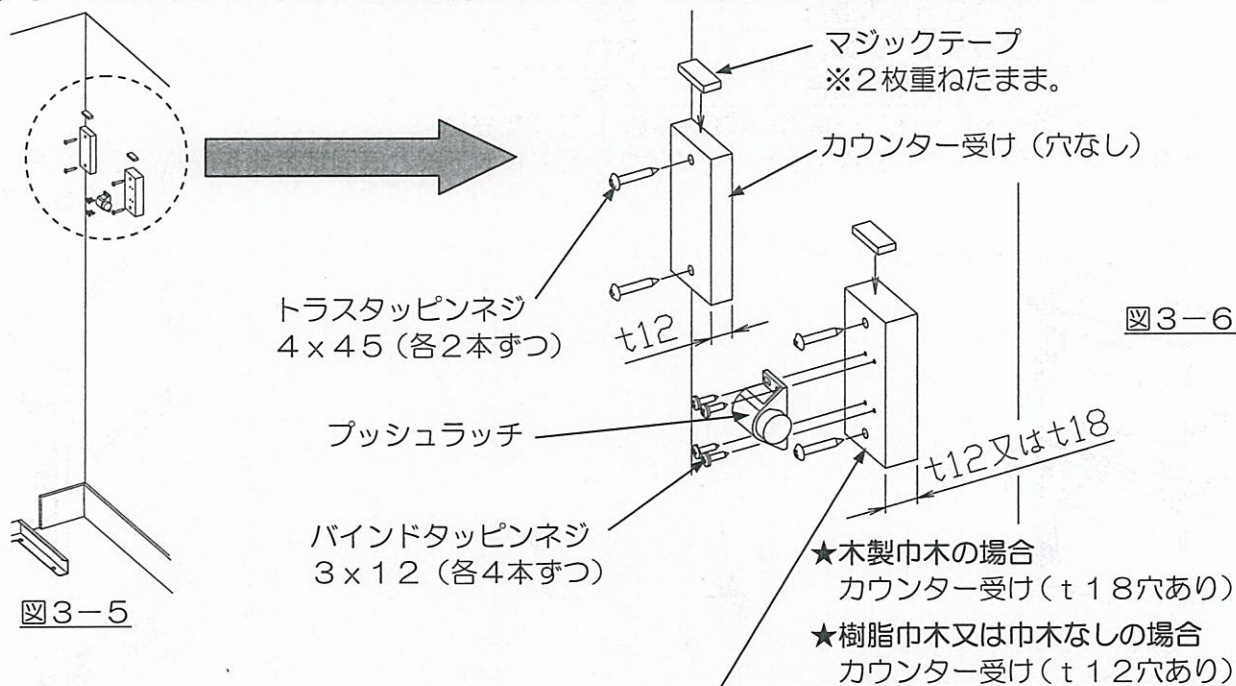
図３－４

両側の横壁にカウンター受けの取付穴位置をけがき、下穴Φ２穴をあけてください。

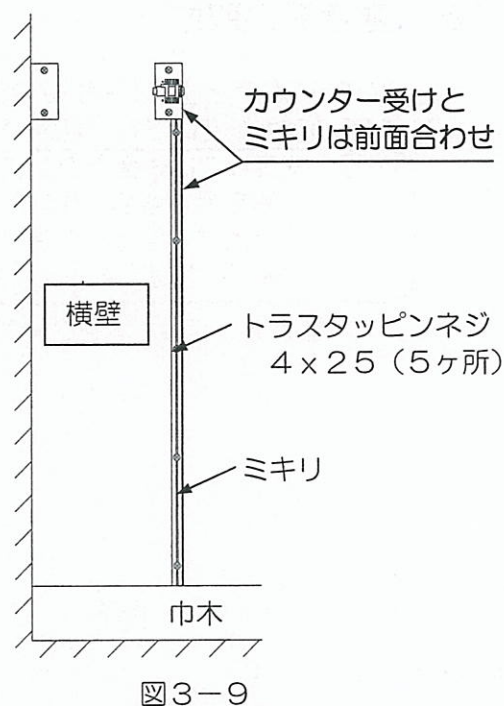
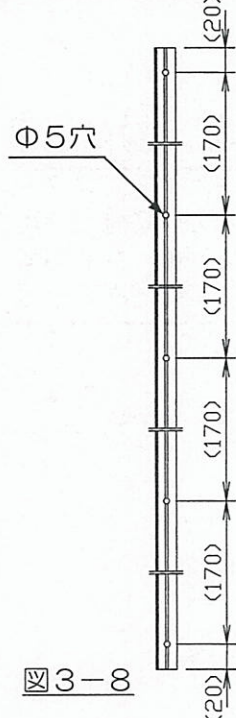
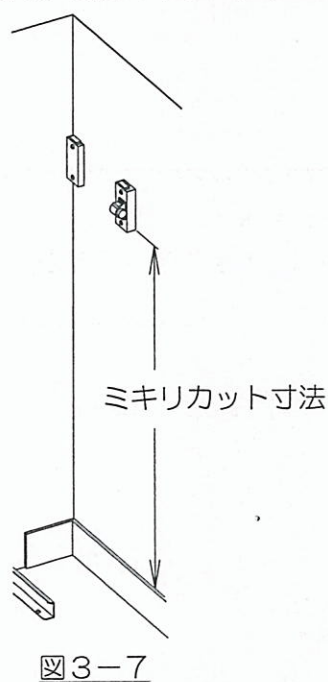
（３）付属のトラスタッピンネジ４ｘ４５でカウンター受けを左右２個ずつ取付けてください。取付けるカウンター受けの厚みは奥側が１２mm、手前側は巾木の厚みによって使い分けてください。
（図３－５・６）

～　木製巾木の場合　～
　　手前側カウンター受けは１８mm厚のものを使用してください
～　樹脂巾木又は巾木なしの場合　～
　　手前側カウンター受けは１２mm厚のものを使用してください

（４）手前側のカウンター受けに付属のバインドタッピンネジ３ｘ１２　４本でプッシュラッチを取付けてください。　（図３－５・６）
（５）すべてのカウンター受け上面に付属のマジックテープを貼付けてください。（図３－５・６）

図３－５　図３－６

④ミキリの取付

（１）図にしたがってミキリをカットし、概ね均等になるように固定用穴Φ５穴を５ヵ所あけてください。
穴をあけるのは硬質樹脂側、溝がある部分です。（図３－７・８）
（２）ミキリの両面テープをはがし、カウンター受けの前面と合わせて仮固定してください。
（３）ミキリの穴位置に合わせて壁面に下穴Φ２穴をあけてください。
（４）付属のトラスタッピンネジ４ｘ２５　５本でミキリを取付けてください。（図３－９）

図３－７　図３－８　図３－９

［４］トイレの据付

便器タンクに同梱の施工説明書にしたがって据え付けてください。

［5］キャビネット本体の設置

（1）タンクの上から落とし込むようにキャビネットを置いてください。（図5－1）
（2）付属のトラスタッピンネジ４x６０　２本でキャビネットを壁面に固定してください。その際、排水芯位置によってキャビネットと後壁との間にスペーサーをはさんでください。（図5－2）

排水芯位置	スペーサー枚数
１９０mmの場合	なし
１９５mmの場合	１枚
２００mmの場合	２枚
２０５mmの場合	３枚
２１０mmの場合	４枚

※５mmピッチで一番近い場合を選択してください。

（3）付属のトラスタッピンネジ４x２５　２本でキャビネット下部と底固定金具を連結してください。（図5－3）

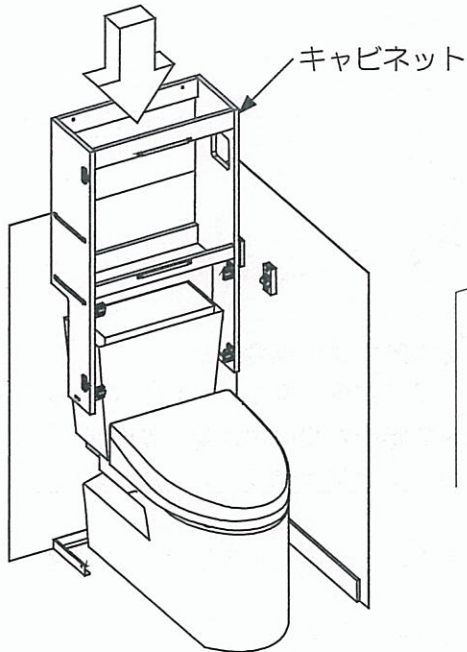
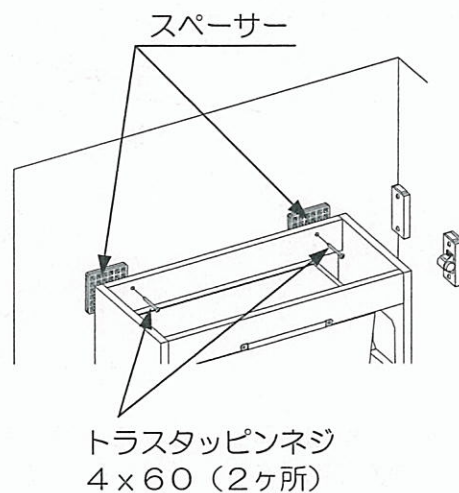
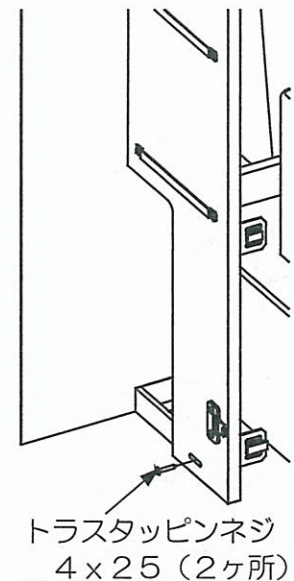
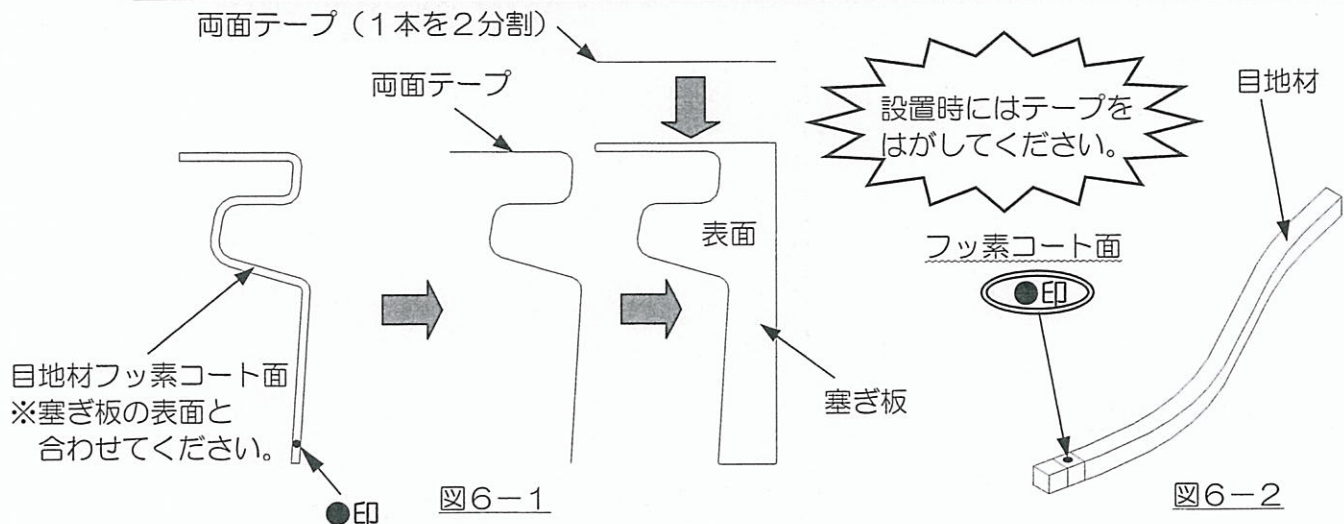



図5－1　図5－2　図5－3

［6］塞ぎ板の取付

（1）塞ぎ板の側面と上面に付属の両面テープを貼付けてください。（図6－1）
（2）側面の離型紙をはがし、目地材を貼付けてください。（図6－1）

注意：塞ぎ板には表裏があります。また、目地材の１面にはフッ素コートしています。
塞ぎ板：梨地（光沢がなく、少しくすんでいる側）が表面側になります。
目地材：目地材に巻かれているテープに「●」がある面がフッ素コート面です。この面が塞ぎ板表面と同一面になるように貼付けてください。（図6－2）

図6－1　図6－2

（3）キャビネットの金具に組付いているマジックテープの離型フィルムをはがし、塞ぎ板を横から所定位置まで挿入後、マジックテープに押し当ててください。左側の塞ぎ板を取付ける際は、温水洗浄便座の給水ホースや電気配線を便器本体と塞ぎ板との隙間に通してください。（図6－3・4・5）

注意：マジックテープは十分に押し付けないとテープがはがれるおそれがあります。

（4）塞ぎ板の両面テープ離型紙をはがし、塞ぎ板カバーを塞ぎ板上面にはめてください。（図6－6）

図6－3

図6－4

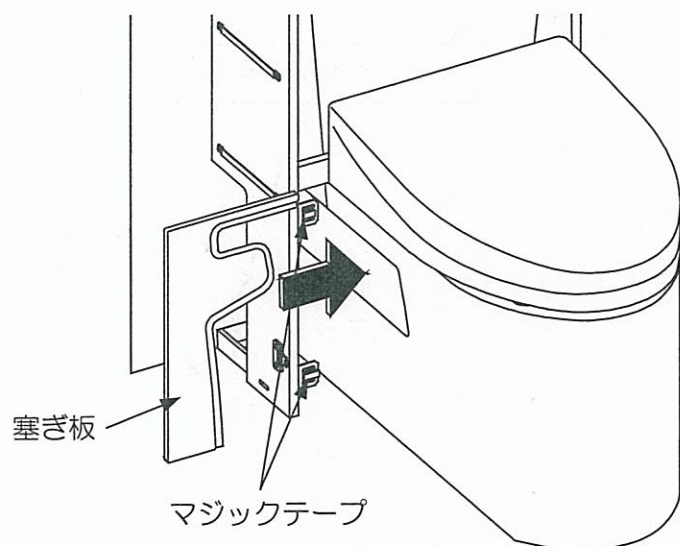
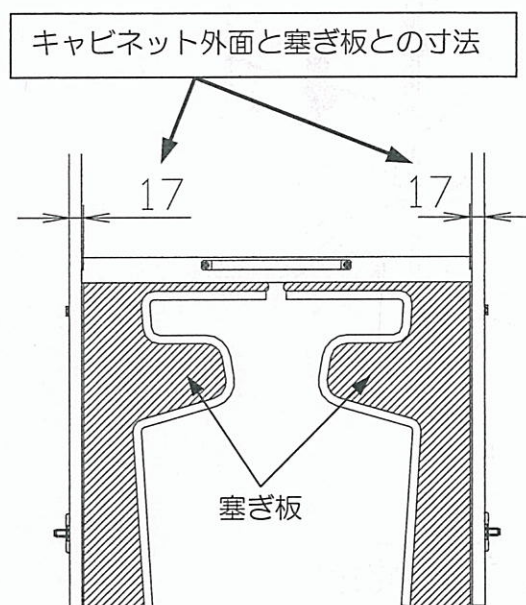
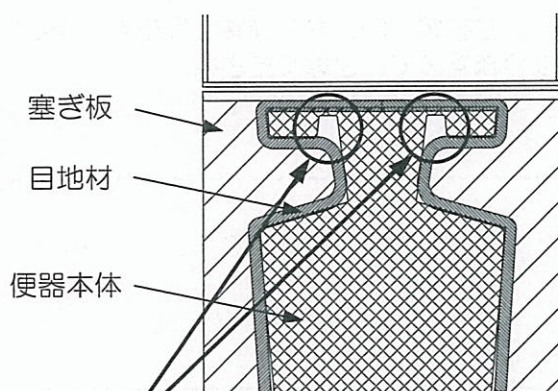
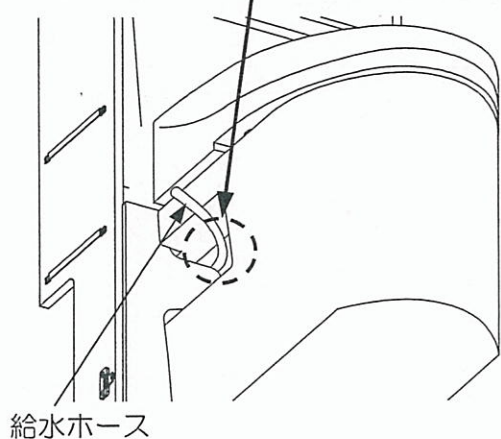



図6－5

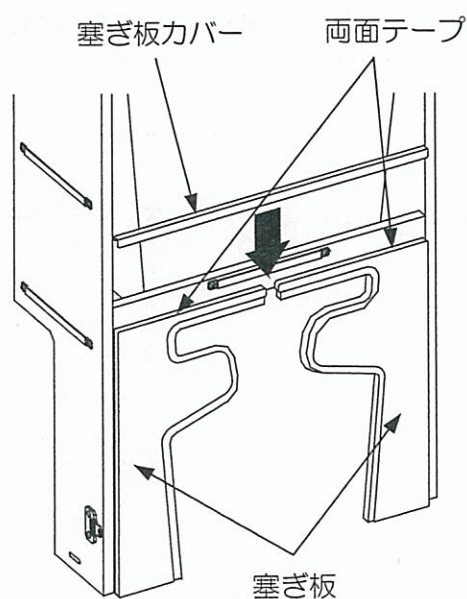



図6－6

［7］飾り板の取付

（1）飾り板をキャビネット側の金具に対してスライドさせて引掛けてください。（図7－1・2・3）

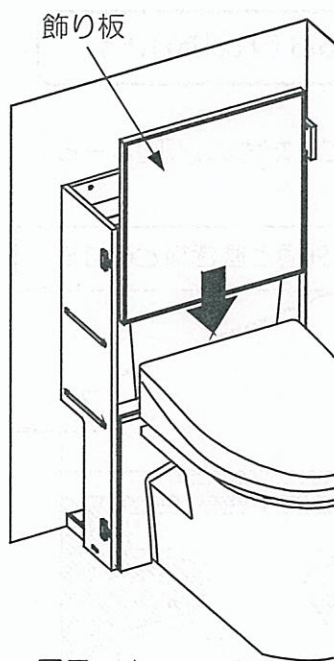
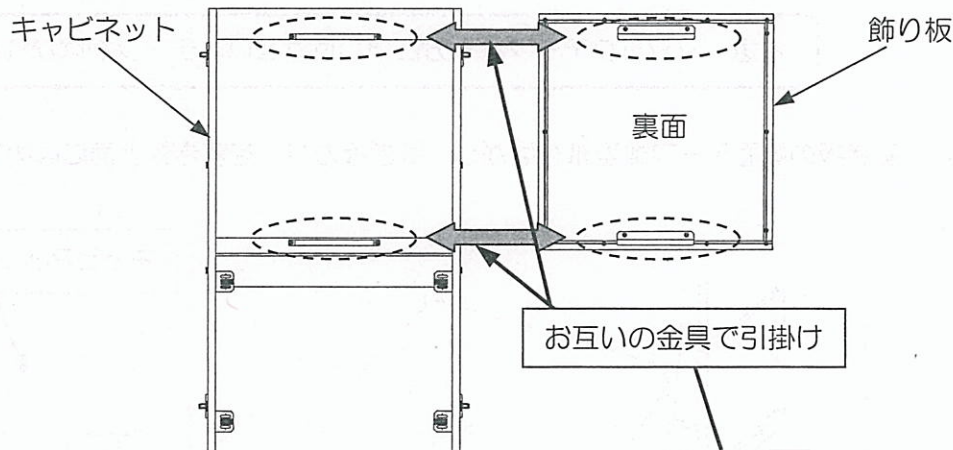
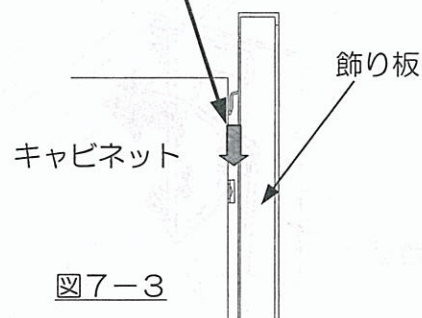



図7－1　図7－2　図7－3

［8］扉の取付

①扉寸法の確認（扉カットのための採寸）

間口方向の排水芯位置がセンターでない場合、左右扉の間口寸法が異なります。また、扉寸法は巾木種類（＝カウンター受けの厚み）によっても異なりますのでご注意ください。

（1）キャビネット外面と横壁との寸法Ａ・Ｂを測定してください。（図8－1）

（2）扉カット後寸法を計算してください。（図8－2）

～　木製巾木の場合　～
扉カット後寸法＝ＡまたはＢ（キャビネット外面と横壁との寸法）－6mm

～　樹脂巾木又は巾木なしの場合　～
扉カット後寸法＝ＡまたはＢと同じ寸法

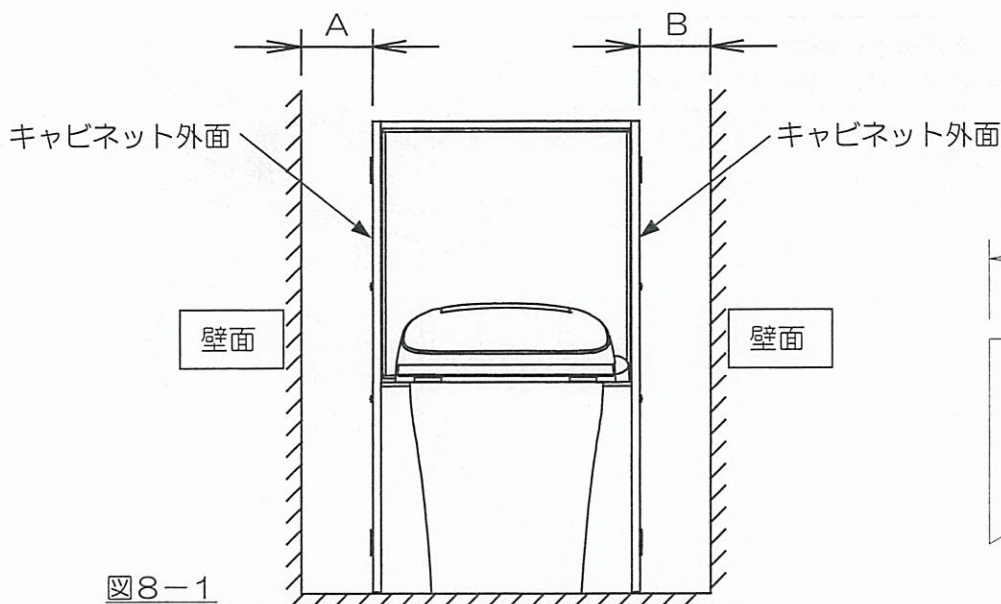
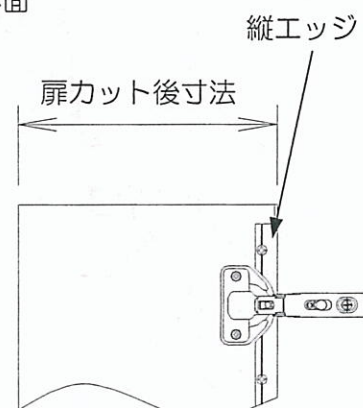



図8－1　図8－2

②扉と横エッジのカット、取付

（1）［8］－①で計算した寸法に扉をカットし、ホーロー端面に防錆剤を塗布してください。（図8－3）

> 注意：・カットする際は扉表面の養生フィルムをはがさないでください。
> 　　　（ホーロー面に切粉が付くと取れなくなるおそれがあります）
> 　　・切断には必ず専用刃物（カッターKP180S）を用いてください。これ以外の工具で加工するとホーローに大きなダメージが発生するおそれがあります。
> 　　・刃物は約10mの切断作業で切れが悪くなってきます。ホーローにダメージが発生するおそれがありますので、約10mを目安に刃物を交換してください。

（3）養生フィルムをはがした後、縦エッジを扉に当てがい扉に下穴Φ2穴　5ヵ所をあけた後に**付属のトラスタッピンネジ3．5x14　4本で固定してください。**但し、プッシュラッチ固定位置（LR両勝手の一番上の固定位置）にはプッシュラッチ受座を付属の皿木ネジ3．1x13　1本でエッジと共に固定してください。（図8－4・5）

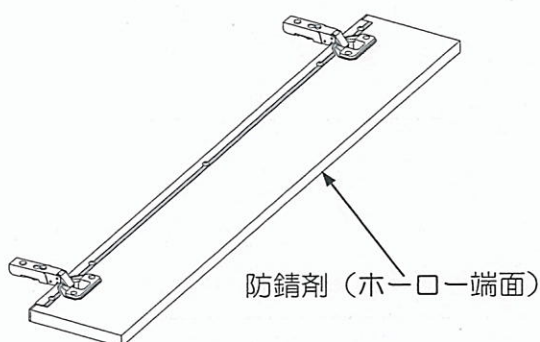
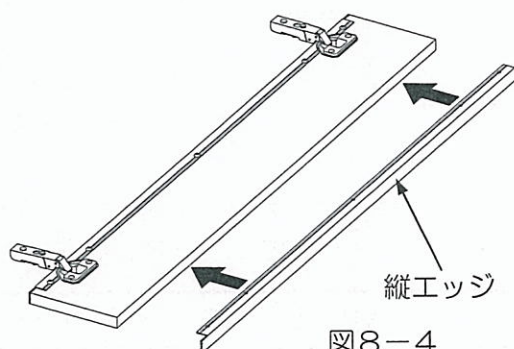
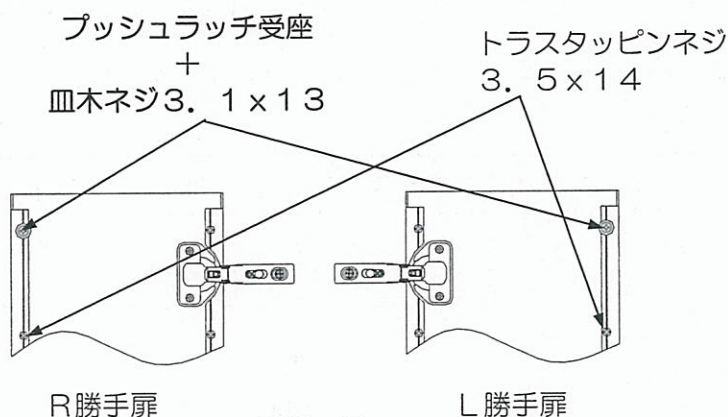
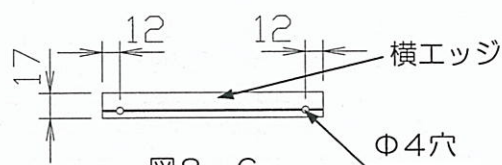
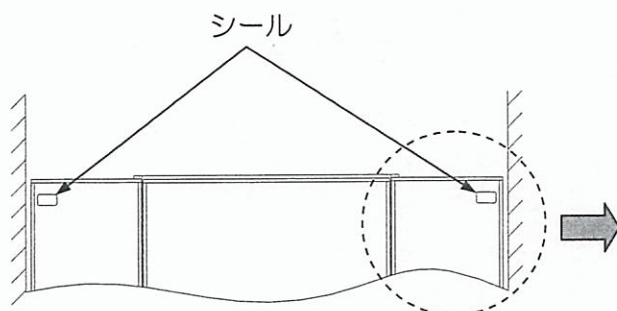
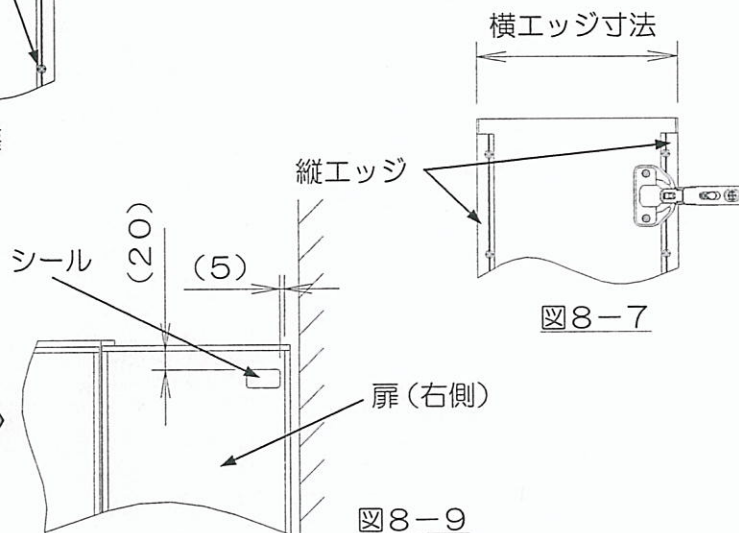
（4）横エッジを扉間口寸法に合わせてカットし、カット面のバリを十分に処理してください。その後所定の位置2ヶ所に固定用穴Φ4穴をあけてください。（図8－6）

> 注意：横エッジのカット寸法は、［8］－①で計算した扉カット後寸法とは異なります。（図8－7）

（5）横エッジを扉に当てがい、扉に下穴Φ2ヵ所をあけた後、付属のトラスタッピンネジ3．5x14　2本で横エッジを固定してください

（5）扉をキャビネットに取付けてください。

（6）所定の位置に付属の『この部分を押してください』と書いたシールを貼付けてください。（図8－8・9）

（7）保護クッションを扉を開けた際に当たる部分に貼付けてください。

［9］カウンターの取付

カウンターは手洗い付タイプと手洗いなしタイプがあります。
また、間口方向の排水芯位置がセンターでない場合はカウンターのカット寸法が左側と右側とで異なりますのでご注意ください。

①手洗い付きタイプの場合

（1）カウンターをカットしてください。カット寸法は下記の式で計算してください。（図9－1・2）
・カウンターのカット寸法A　＝　201－a（キャビネット左側外面と左横壁との寸法）
・カウンターのカット寸法B　＝　201－b（キャビネット右側外面と右横壁との寸法）

注意：・カットする際はカウンター表面の養生フィルムをはがさないでください。

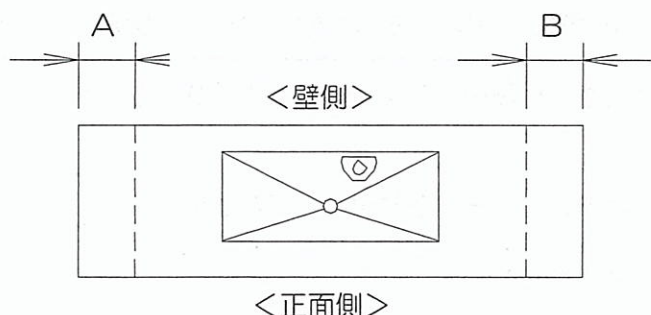



図9－1

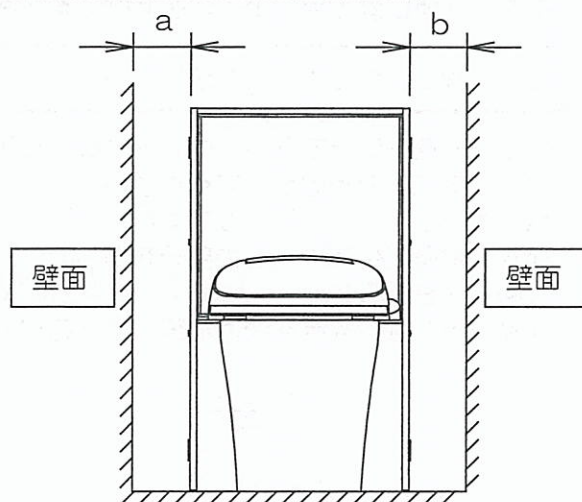



図9－2

（2）カット面をヤスリなどで仕上げた後、付属の天板木口テープをカウンターの両カット面に貼付けてください。その後、カウンター形状に沿って天板木口テープをカットしてください。

注意：天板木口テープを貼る際、十分に押し付けないとはがれるおそれがあります。

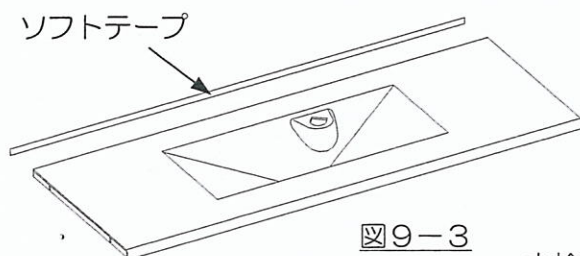
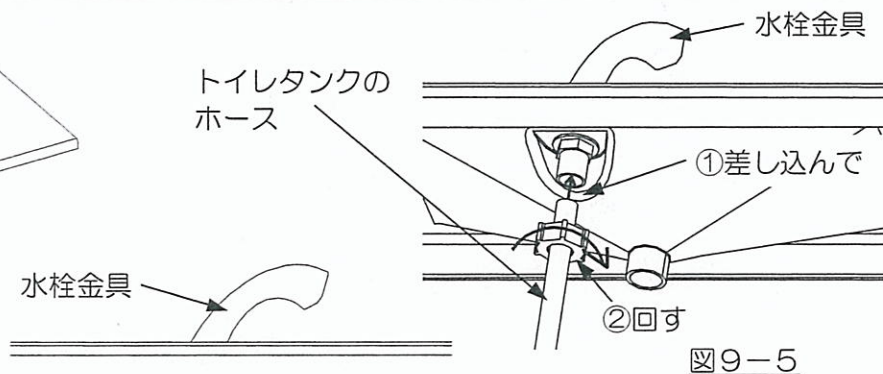
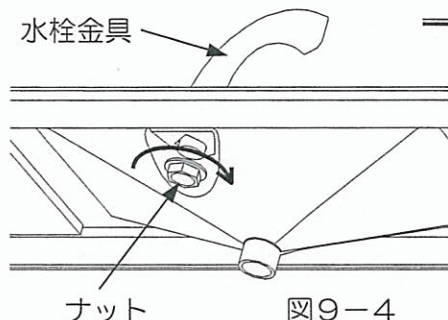
（3）カウンター壁側の天板木口に付属のソフトテープを貼付けてください。余った分はカットしてください。（図9－3）

（4）カウンターにタンク同梱されている水栓金具を手締めで取付けてください。その後、タンクのホースと水栓金具とを手締めで接続してください。（図9－4・5）

注意：ホースと水栓金具が接続不良の場合、水漏れの原因になりますので確実に接続してください。

図9－3

図9－4

図9－5

（5）カウンター受け上面のマジックテープに付いている離型フィルムをはがした後、カウンターを後壁に押し当てながらキャビネットの上に設置してください。また、設置後はカウンター両端を上から押さえつけてマジックテープを十分に付けてください。（図9－6）

注意：十分に押し付けないとテープがはがれるおそれがあります。

（6）温水洗浄便座の蓋が当たるカウンター部分に保護クッションを貼り付けてください。（図9－7）

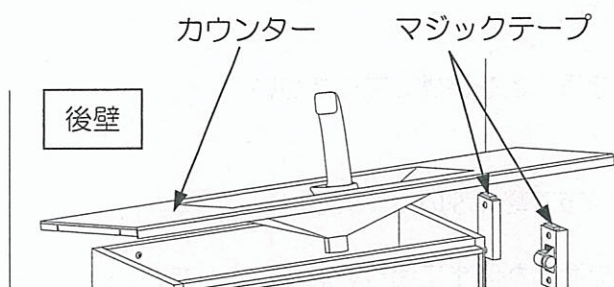



図9－6

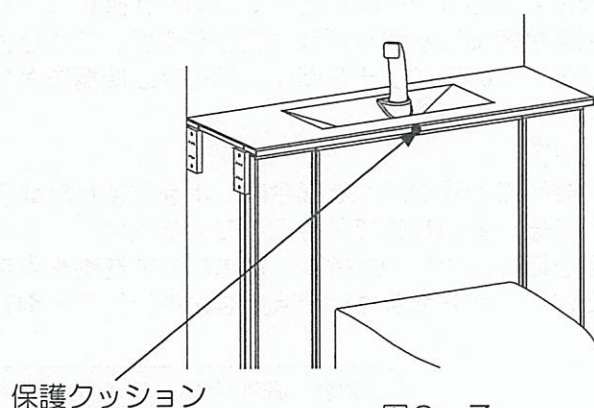



図9－7

②手洗いなしタイプの場合

（1）カウンターを下記寸法にカットしてください。
カウンター寸法 ＝ 設置間口 － 2mm

（2）カウンター壁側の木口に付属のソフトテープを貼付けてください。（図9－3に準ずる）
（3）カウンター受け上面のマジックテープに付いている離型フィルムをはがした後、カウンターを後壁に押し当てながらキャビネットの上に設置してください。また、設置後はカウンター両端を上から押さえつけてマジックテープを十分に付けてください。（図9－6に準ずる）

注意：十分に押し付けないとテープがはがれるおそれがあります。

（4）温水洗浄便座の蓋が当たるカウンター部分に保護クッションを貼り付けてください。
（図9－7に準ずる）

［10］棚の取付

（1）棚板を取付金具にに引掛けてください。
（図10－1）

左右2ヶ所ずつに取付金具があります。

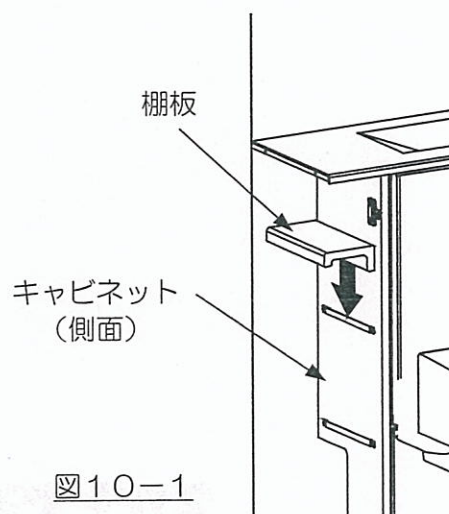



図10－1

7. 点検・仕上げ

●点検

・扉に段違いや丁番のゆるみによるガタツキがないことを確認してください。不備がある場合は下記にしたがって調整してください。不備がある場合は取扱説明書の「調整のしかた」にしたがって調整してください。
・取付部がしっかり固定されているかを確認してください。
・配管接続部に水漏れがないことを確認してください。
・リモコンのスイッチを操作して正常に便器洗浄ができることを確認してください。

●仕上げ

・設置時に製品が汚れた場合は、水を含ませた柔らかい布で軽くふいてください。
その後、乾いた布でふき取ってください。
・落ちにくい汚れの場合は、薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布で汚れを落としてください。
その後、水を含ませた布またはスポンジで洗剤をふき取り、最後に乾いた布でふき取ってください。

8. お願い事項

●取扱説明書の引渡し

取扱説明書はお引き渡しの際にお客様にお渡しください。

●梱包材その他の工事部材の処理

梱包資材等の不要部材は法令にしたがって適正な処理をお願いします。

タカラスタンダード株式会社
本社 〒536-8536 大阪市城東区鴫野東1丁目2番1号
TEL(06)6962-1531(代)

10154578
2F-1
設置説 WCK(1)